

平成22年度技術士第二次試験問題〔環境部門〕

選択科目【19-4】環境影響評価

1時30分～5時

I 次の2問題（I-1，I-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

I-1 環境影響評価法に基づく環境影響評価の手続きにおける事業者の説明責任の在り方について、重要と思われる事項を3つ以上取り上げ、具体的に論述せよ。（問題番号を明記し、答案用紙2枚以内にまとめよ。）

I-2 環境影響評価法に基づく環境影響評価を実施する際に、考慮すべき参考項目から、次の2設問について解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて設問番号を明記し、それぞれ指定の枚数以内にまとめよ。）

I-2-1 次頁に示す「環境要素の区分a～d」の中から環境影響評価項目を1つ選択し、その項目について調査・予測・評価のいずれかに係る最新技術を記述のうえ、既存技術と比較することにより、その最新技術の特徴と有効性について論述せよ。（答案用紙1枚以内にまとめよ。）

I-2-2 上記において選択した環境影響評価項目について、道路事業における高速自動車国道の環境保全措置を3つ挙げ、それぞれについて効果の有効性とその不確実性、他の環境影響評価項目への影響の有無について論述せよ。（答案用紙それぞれ1枚以内、計3枚以内にまとめよ。）

環境要素の区分		
a. 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	大気環境	大気質
		騒音
		振動
		悪臭
		その他
	水環境	水質
		底質
		地下水
		その他
	土壌環境・その他の環境	地形・地質
		地盤
		土壌
その他		
b. 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	植 物	
	動 物	
	生態系	
c. 人と自然との豊かな触れ合い	景 観	
	触れ合い活動の場	
d. 環境への負荷	廃棄物等	
	温室効果ガス等	

出典：環境庁告示第八十七号 別表 （平成九年十二月十二日）

（最終改正：平成十七年三月三十日環境省告示第二十六号）